

「都市像」の考え方について

1 現行の都市像について

昭和46年3月、第1次長期総合計画の策定とともに最初の基本構想が議決されて以来、長期総合計画の改定時期に併せて、基本構想も見直しが行われてきた。

こうした中で、基本構想に掲載される都市像（「北方圏の拠点都市」「新しい時代に対応した生活都市」）は、最初の基本構想の策定時から変更されていないものの、都市像の下に掲載される解説文は、ほぼ毎回、それぞれの時代に対応したものに変更され、現在に至っている。（次頁参照）

2 都市像の再検討に関する考え方について

○改定の是非

都市像は目指すべき都市の姿であることから、短期間に変更するものではないとの考え方があり、実際に、現在の都市像は昭和46年以来、踏襲され続けている。

一方、現行の基本構想や長期総合計画を抜本的に見直すとしている「まちづくり戦略ビジョン」の策定を契機に、時代をより反映し、市民と共有できる新たな都市像を設定すべきとの考え方もある。

○見直しの視点

見直しがなされる場合には、都市像が包括的、普遍的なまちづくりの目標であることから、現在、先行して審議されているまちづくり戦略ビジョンの「基本目標」と整合性が図られている必要がある。

また、現行の都市像との継続性についても配慮する必要がある。

これらのことを鑑みると、現行の都市像から導かれる「グローバル化」や「市民生活」といった視点や、これまでの審議会の意見から導かれる「地域」や「経済」といった視点が、新たな都市像において考慮すべき視点になると考えられる。

○今後の検討方法

以上の考え方や本日の審議会で出される意見などを踏まえ、次回審議会（1月下旬開催予定）において「都市像(案)のたたき台」を提示し、これを基に議論していくこととしたい。

<参考 1> 都市像の解説文の変遷

	北方圏の拠点都市	新しい時代に対応した生活都市
第 1 次 (S46)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中枢機能の高度化による北海道開発への貢献と国土の均衡ある発展への寄与 ○ 様々な分野での国際交流機能の充実による北方圏における拠点的作用の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全で快適な生活環境の完備 ○ 市民の精神的・知的活動の活発化 ○ 市民相互の連帯感の高揚 ○ 北方の風土にふさわしい新たな都市生活環境の創造
第 2 次 (S52)	同 上	同 上
第 3 次 (S63)	(世界に結ぶ) <ul style="list-style-type: none"> ○ 北方圏交流の一層の活発化 ○ アジア地域等の諸都市との交流の推進 ○ 国際都市としてのイメージの確立と国際社会の発展と平和への貢献 	(先駆的な実験を継続する) <ul style="list-style-type: none"> ○ 伸びやかな精神的伝統の 21 世紀への継承 ○ 行政と市民が一体となった先駆的な実験(まちづくり)の継続
	(北の都市機能を創造する) <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な分野における札幌独自の専門機能の創造(雪や寒さを資源として活用した文化や産業の創造) ○ 活発な都市活動の促進と北の専門的情報を世界に発信しうる独自機能の保持 	
第 4 次 (H10)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高度な都市機能の集積や独自の文化の醸成 ○ 東アジア諸都市等との交流の促進 ○ 国際的な相互理解を深め、国際平和の実現に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活都市としての機能と魅力の向上 ○ 活力ある都市活動の維持 ○ 市民の創意と主体的な活動によって支えられ、市民が生きいきと暮らせる生活都市の実現

<参考 2> 現行の都市像

・北方圏の拠点都市

札幌が国際平和、人権、地球環境問題に関する取り組みなど世界の都市の一員としての責任と役割を分担しながら、北海道の発展に中心的な役割を果たしていくためには、政治、経済、技術、文化などさまざまな分野における創造的な都市活動と国際交流を活性化し、北の拠点都市としての機能を強化していく必要がある。

このため、今後とも高度な都市機能の集積や独自の文化の醸成を図るとともに、北方圏の先導的な都市としての役割を担いつつ、東アジア諸都市等との交流を一層促進し、国際的な相互理解を深め、国際平和の実現に寄与していく。

・新しい時代に対応した生活都市

札幌が生活都市としての機能と魅力を高めていくため、安全で安心できる暮らしの確保を図った上で、自然と調和したまちづくりや個性ある地域づくりなど市民の参加による愛着心の持てるまちづくりを進める。また、環境への負荷の低減に努めながら都市機能の高度化や力強い産業の育成を進め、活力ある都市活動を維持する。

さらに、ゆたかな都市文化を形成するとともに、市民の創造性の伸長・発揮のための環境を整備し、市民の創意と主体的な活動によって支えられ、市民一人ひとりが生きいきと暮らせる生活都市を実現していく。